

TFT TABLE FOR TWO



学校内で育てる野菜を活用

フィリピンは年間を通じて気温と湿度の高い熱帯モンスーン型気候です。乾季は12月から5月頃まで、雨季は6月から11月頃まで続き、雨季の後半には台風が到来することもあります。大型台風が襲来すると農業に被害が生じ、復興のために公的予算が投入されるなど、経済成長に対する影響は非常に大きいです。

恵まれた気候条件で、米の二期作や野菜の通年収穫が盛んです。バライバイ小学校では、校内の菜園で収穫した野菜を、給食に利用しています。ビタミン類や食物繊維が豊富な野菜は給食には欠かせません。通年で収穫できる野菜のほか、乾季にはトマトやナス、大根、冬瓜などを、雨季には空心菜やかぼちゃなどを栽培しています。



フィリピン
カステリヤホス



日本
東京



世界を繋ぐ ひとつの テーブル

わたしの一食が、
あの子の一食になる。



フィリピンでは、全国的に、また全年代で野菜や果物の摂取量が少ないことが問題視されており、フィリピン人の野菜の年間摂取量は世界平均の半分という調査結果もあります。そこで、給食支援を受ける生徒の保護者を対象に、野菜嫌いな子どもでも無理なく食べられるメニューのコンテストを開催しました。



フィリピンのクリスマスやお正月では、麺料理が定番のメニューの一つです。麺類は「長い人生」を象徴する縁起の良い食べ物とされています。12月には給食でもスパゲッティが提供され、普段と違うメニューに子どもたちは大喜び。おかわりをする子もたくさんいました。



TABLE FOR TWO は開発途上国の飢餓と先進国の肥満や生活習慣病の解消に同時に取り組む、日本発の社会貢献運動です。

©TABLE FOR TWO International



TFT導入第一号企業である伊藤忠商事の社員食堂では、支援に繋がるよう、誰もが食べたいと思えるヘルシーなメニュー作りに取り組んでいます。また、広報活動にも力を入れており、掲示板や提供レーンにTFTに関するニュースを掲示しています。寄付活動に興味を持ち、掲示資料をじっくり読む社員の姿が多く見られています。



理研計器の社員食堂では、ダイバーシティ・インクルージョンを身近に感じてもらえるよう、海外拠点の料理を提供するイベントを実施しています。台湾名物とTFTのコラボメニューを提供し、低カロリーに抑えた豆漿鶏肉麺は社員からの反響も良く、完売となりました。また、工場見学に来たお客様へTFTの取り組みを紹介し、活動の輪を広げています。